



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社セイワホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 野 見 山 勇 大
(コード番号：523A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役副社長 井 川 径 成
(T E L : 0 5 2 - 2 6 5 - 8 4 6 7)

保安道路企画株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、本日開催の取締役会において、保安道路企画株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは、「たたむにはもったいない中小企業を受け継ぎ、選ばれ続けるモノづくりグループをつくる」ことを理念に掲げ、後継者不在等の課題を抱える中小製造業の事業承継（M&A）を連続的に行うとともに、独自の「セイワプラットフォーム」を通じた経営支援によりグループ各社の企業価値向上（バリューアップ）に取り組む、製造業特化型の事業承継プラットフォームであります。当社グループの祖業である株式会社セイワ工業は、道路関連資材の製造を手掛けており、道路インフラ分野に事業基盤を有しております。

このたび株式を取得する保安道路企画株式会社（以下「保安道路企画」といいます。）は、神奈川県横浜市を拠点とし、視線誘導標「ポストフレックス」を主力製品とする保安用品の製造・販売・リース並びに交通安全施設工事等を手掛ける企業であります。同社は、米国 PEXCO 社より「ポストフレックス」の日本国内における独占販売権を付与されており、全国 1,200 社以上の販売網を通じて国土交通省、地方公共団体、工事会社等に製品を供給しております。

当社は、保安道路企画の株式を取得することにより、主として以下の効果が見込まれるものと判断いたしました。

第一に、本件は、当社グループがM&A戦略において大切にしている「ニッチで競合優位性を持つ会社」という方針に合致するものであります。保安道路企画は、視線誘導標というニッチ市場において、ポストフレックスの国内独占販売権や商標権・意匠権、自社加工ノウハウ等に裏打ちされた高い競合優位性を有しております。

第二に、当社グループの祖業である株式会社セイワ工業は道路関連資材の製造販売を手掛けており、保安道路企画の製品との親和性が高いことから、双方の顧客に対する共同提案やセット販売を通じて顧客単価の向上が図れるなど、高いシナジー効果が期待されます。

第三に、交通安全市場は、老朽化した道路インフラの更新需要に加え、国土強靱化・防災投資や自動運転対応の進展を背景として、中長期的な拡大が期待される市場であります。

以上を踏まえ、当社は、保安道路企画の株式を取得し子会社化することが、当社グループ及び同社の企業価値の向上に資するものと判断し、このたび同社の株式を取得することといたしました。

2. 異動する子会社（保安道路企画株式会社）の概要

(1)	名 称	保安道路企画株式会社		
(2)	所 在 地	神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町 1－12－10		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 森 健太郎		
(4)	事 業 内 容	視線誘導標「ポストフレックス」をはじめとする保安用品の製造・販売・リース、交通安全施設工事並びに公共サイン・標識設置工事		
(5)	資 本 金	20 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2020 年 3 月 5 日（1974 年 9 月創業）		
(7)	大株主及び持株比率	いわかぜ 2 号投資事業有限責任組合：70.0％ 森 健太郎：20.0％ その他：10.0％		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023 年 7 月期	2024 年 7 月期	2025 年 7 月期
	純 資 産	1,088 百万円	1,098 百万円	1,122 百万円
	総 資 産	2,377 百万円	2,254 百万円	2,177 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	8,374 円	8,448 円	8,633 円
	売 上 高	1,011 百万円	1,068 百万円	1,133 百万円
	営 業 利 益	108 百万円	122 百万円	139 百万円
	経 常 利 益	106 百万円	97 百万円	120 百万円
	当 期 純 利 益	12 百万円	9 百万円	24 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	97 円	74 円	185 円
	1 株 当 たり 配 当 金	－	－	－

(注) 1. 上記経営成績及び財政状態については、監査法人による監査を受けておりません。

2. 大株主及び持株比率のうち一部については、相手先との守秘義務契約及び相手先の意向により非開示としております。なお、当該非開示の譲渡先は当社の関連当事者には該当せず、当社との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

3. 株式取得の相手先の概要

株式取得の相手先は、いわかぜキャピタル株式会社が運営する「いわかぜ 2 号投資事業有限責任組合」、保安道路企画代表取締役の森健太郎氏及びその他の 3 者であります。なお、当社と株式取得の相手先との間には、記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	130,000株 (議決権の数：130,000個)
(3) 異動後の所有株式数	130,000株 (議決権の数：130,000個) (議決権所有割合：100.0%)

(注) 当社は、保安道路企画の発行済株式の全部を取得し、完全子会社化する予定であります。

取得価額につきましては、相手方の意向により非開示としております。なお、取得価額につきましては、外部の専門家による法務・財務に関する調査の結果等を総合的に勘案し、当事者間の協議を経て決定しております。

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026年7月31日
(2) 契約締結日	2026年7月31日
(3) 株式譲渡実行日	2026年8月31日(予定)

6. 今後の見通し

本件が当社の2027年5月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

株式会社セイワホールディングス

保安道路企画の株式の譲受に 関する補足資料

証券コード：523A（東証グロース市場）

保安道路企画の概要

視線誘導標：ポストフレックスの国内独占販売権を有する
保安道路企画の譲受を実行

会社名	保安道路企画株式会社
創業	1974年 9 月
資本金	2,000万円
所在地	神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町 1 - 12 - 10
従業員数	35名（2025年7月末現在）
事業内容	ポストフレックスの製造および販売、道路保安用品の販売およびリース（輸入および国内販売）、交通安全施設工事（区画線・標識・安全施設）
建設業の種類	塗装工事業・とび・土木工事業

ポストフレックスを主力に、交通安全領域を幅広くカバー

保安用品の製造・販売から交通安全施設工事まで一貫して展開

主力製品

ポストフレックス

20t車に踏まれても復元

高復元力 | 高耐久 | 低コスト



GOOD DESIGN AWARD
2013年度受賞



交通安全を支える幅広い事業

その他の保安用品



工事用フェンス・バリケード等も展開

交通安全施設工事

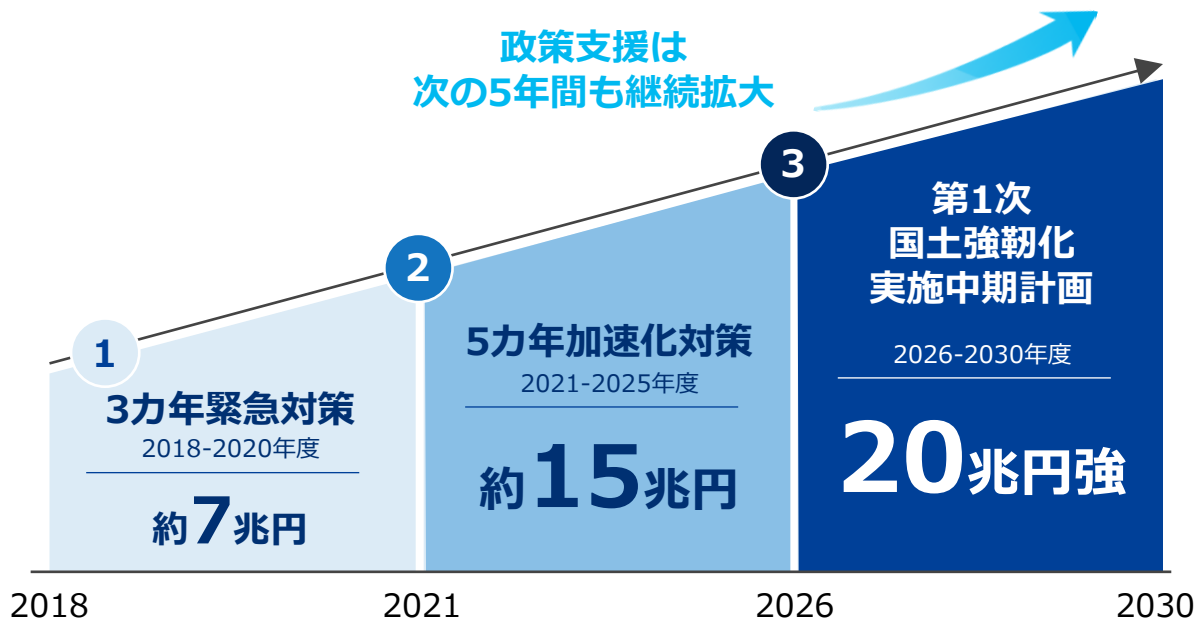


区画線・防護柵・標識等の施工に対応

交通安全市場の見通し

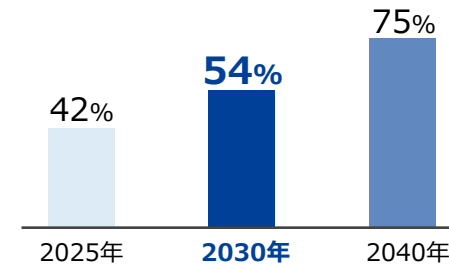
道路インフラの更新需要と国策を背景に、関連市場は中長期で拡大することが見込まれる

国土強靱化関連の事業規模推移



道路の老朽化が、更新需要を押し上げ

建設後50年以上の道路橋の割合



国内の道路橋約73万橋のうち、建設後50年以上を経過する道路橋の割合は、**2030年に半数を超える**見込み

足元でも大規模な道路投資が行われている

2025年度
道路事業配分

1.46兆円

うち維持修繕

4,526億円

道路工事・
維持更新の増加



交通規制



区画線・標識



安全施設



保安道路企画の事業機会は継続的に拡大

新設だけでなく、補修・更新時にも交通安全・規制関連需要が発生

出所：内閣官房「第1次国土強靱化実施中期計画」、国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来」「令和7年度 道路関係予算配分概要」を基に作成。
国土強靱化の金額は、各計画期間における事業規模。道路事業配分は、事業費ベース。

セイワ工業とのシナジー

補完的な製品・顧客基盤を相互活用し、クロスセルとセット販売を推進

セイワ工業



大型道路案内標識柱

大型構造物の製造力・品質管理

① 顧客基盤を活用したクロスセル

保安道路企画の顧客へ、大型道路案内標識柱等を提案

セイワ工業の顧客へ、ポストフレックス等を提案

既存顧客への提案商材を拡大

② 同一案件における製品のセット販売



+



道路安全領域を一括で提案

保安道路企画



ポストフレックス等

高い商品力・豊富な施工実績

クロスセル及びセット販売を通じて、双方の**顧客単価の上昇**が見込まれる